

小倉工業北辰会報

Vol. 84

https://www.hokusin.net/

発行：令和4年5月19日

野球部九州大会出場 18年ぶり（於宮崎市）



▲対東筑戦で力投する山田投手



▲ピンチで山田投手を激励する内野陣

新聞に答えているように県立高でも夏の甲子園に出場できることを証明して欲しいと願っています。

九州大会出場までの経過

小倉工 7 - 0 折尾 (8回コールド)

小倉工 4 - 0 東筑紫学園

小倉工 10 - 0 北九州市立 (6回コールド)

小倉工 3 - 1 東筑

小倉工 5 - 1 筑陽学園

小倉工 8 - 0 折尾愛真

決勝

小倉工 3 - 12 西日本短大附

相手は、昨年春の甲子園選抜大会の準優勝校大分豊と決まり力を試すチャンスに恵まれ、序盤から打棒が振るい6点を奪い7回迄6対1とリードしましたが、8回一死から同点に追いつかれ9回に一点取られて逆転されてその裏二死からヒットと四球で一、二塁長打が出れば逆転サヨナラ勝ちを期待しましたが、あと一打が出ずそのまま逃げ切られました。

7回迄は、ほぼ勝利を手中にしたと思われたが大魚を釣り落とす結果となりました。聞くところによると山田投手は途中から右手中指の爪が割れていたようです。そのような状態乍ら最後迄よく投げたと思います。

ここ数年県大会で度々4強・8強に入りあと一歩のところまで涙を呑む場面がありました。今春の九州地区高校野球大会では投打がよく纏まり山田投手の好投と打線もそれにこたえ、又、内外野共堅い守備も随所で見られ甲子園出場経験を持つ東筑や筑陽学園を撃破し、準決勝では折尾愛真を7回コールドで下し、決勝では西日本短大附と対戦、序盤先制したものの逆転され終盤更につき離され大差をつけられ敗北しました。

結果は、準優勝となりましたが18年ぶりに九州大会（於宮崎市）出場となりました。



▲東筑戦で決勝タイムリーを放った中野遊撃手



▲ダイヤモンドを一周する倉工選手

九州大会結果

大分豊 0 1 0 0 0 0 0 0 5 1 - 7

小倉工 0 1 0 0 4 1 0 0 0 0 0 - 6

転任の御挨拶



新教頭
後藤 高司

令和4年度の人事異動により4月1日付にて吉中慎敏教頭本年度 田川科学技術高校 校長の後任として、苅田工業高校から教頭として異動して参りました後藤高司でございます。新任教頭として、123年という伝統ある小倉工業高校に就任させていただきます。着任からわずかですが、小倉工業高校の積み上げてこられた教育に改めてふれさせていただきます。日々勉強させていただきます。

また私は、10年前まで（平成17年から平成24年まで7年間）本校に勤務させていただきました。前回の小倉工業での在職中には北辰会の皆様から様々な面において御支援と御協力を賜り大変ありがたうございました。以前赴任した平成17年当時、設備工業科が最後の卒業生を輩出し、電子機械科2クラスが機械科と電子機械科となり、学科構成が大きく変化するところであったのを記憶しています。その当時と現在を比べると大きく変わっている点がございます。それは、新型コロナウイルス感染症の影響を

大きく受け、様々な教育活動が制限されているという点です。新学期早々に行われていた新入生指導も昔とは違う形で実施されていきました。しかし、変容していく社会様式に、小倉工業のスタイルを踏襲しながら効果的な変更を加えていくところは、やはり小倉工業高校だと感じるところでした。

また、以前小倉工業に在職していたころは、運動部はもちろんですが、文化系のものづくりも大変勢いがあり、多くのものづくり競技やコンテストで、県大会や九州大会、全国大会で上位に入賞していた覚えがあります。私も北辰会の御支援をいただき、マイコンラリーやWROの競技に指導した生徒を参加させ、県大会や九州大会、全国大会で優勝や上位入賞をさせていただきましたことが出来ました。重ねてお礼申し上げます。

今年私は教頭として着任し、私の出来ること、すなわち小倉工業高校の魅力をどのようにして高めていくのかというところに全力を注いでいきたいと思っています。小倉工業高校は技能五輪のメタリストを何人も輩出している学校です。部活動もものづくりや学校にしていくなために粉骨碎身の気持ちで頑張っていく所存です。今後とも御支援、御協力をお願い申し上げます。

延期しました

令和4年度 北辰会総会

日時：令和4年11月6日（日）

- 受付：14時から
- 総会：15時から
- 懇親会：16時30分から

会費：¥5,000

【当番幹事】
平成9年卒
平成10年卒
平成21年卒
平成22年卒

場所：小倉飯店
北九州市小倉北区堺町
1-8-14
TEL(093) 521-8631



新型コロナウイルスの影響で再延期する場合があります。
その場合はHPでお知らせします。

創立記念式典・記念講演会開催

5月2日晴天の中、令和4年度の創立記念式典・記念講演会が母校で開催されました。

コロナ禍の中、昨年に続き式典は百周年記念館講堂で生徒代表参加の形で行われました。昨年は生徒会役員のみ代表参加でしたが、今年は各クラス代表も参加し、在校生は各教室でリモート方式で参加する式典、記念講演会となりました。

特設会場で行われた記念式典では、中野敏昭校長が、本校の歴史と一期生の当時の学校生活や志、120年にわたる卒業生の活躍を紹介し、伝統は次なるスタート、生徒諸君一人一人の努力で更に一歩進めることで日本になれる、と式辞を述べられました。続いて笹原裕明北辰会長が、コロナ禍の中で技術革新が革新的に進み、倉工での技術の学びは益々重要となる、高校生活を充実して、先輩に続いてほしいと、激励の挨拶を行いました。

引き続き感謝状贈呈が行われ、在校生に人工知能の講習を2年半にわたり無償で行ってきた「Z Factory」(株)代表取締役の田邊慎治氏(平成元年 電子科卒)に対して、中野校長から感謝状が贈呈されました。続けて、表彰を受けられた田邊氏から長年の情報技術との関わりを通して「技術と人間」をテーマに講話が行われました。コンピュータとの出会いや倉工での学び、社会に出てからの技術との向かい合い、人工知能のこれからなど、技術を学び糧とする生き方が倉工生へのメッセージとして語られました。

記念講演会では、平成4年 電子科卒の岑 建一先輩が講演されました。

コロナ禍前までは昭和から令和までの20人程



▲式典にて挨拶される中野校長

の先輩から、講座に分かれて様々な体験を聞く形で行われてきましたが、今年も卒業生を代表する方の講演となりました。

中央大学へ進学、三井住友銀行(入社当時さくら銀行)に入社、主に関東地区を中心勤務され、昨年から九州での勤務となり、現在同銀行福岡法人営業部部長として活躍されています。

コロナ禍の中で、世界のど真ん中で活躍されている岑先輩に是非講演をお願いしたいとの学校の強い意向を受け、実現しました。

岑先輩は講演の中で、「富士山は登れないと語れない。出来るだけ遠くに高く目標を持ちチャレンジして欲しい。結果を恐れない。甲子園に行くのではなく、甲子園で勝つという目標を持って欲しい」と語り、講演中、後輩の規律正しく変わらぬ逞しい姿を見ながら、将来自分を語れる人間になつて欲しい。と話されました。

両講師の話聞いた多くの生徒たちからは、「世の中の産業を支え、活躍するためには高校生という頭の柔らかいうちにたくさん勉強や経験をして、知識を身につけることが大切であると感じました。」「やりたいことを仕事にすることは簡単ではないけれど、田辺先生のように努力をすれば夢も現実になるということがわかりました。」「岑先生に教えていただいた人間関係やものごとへの取り組み方を大切にしてこれからも努力していきたいと思います。」「未来へ向けた目標というものには必要なのだろうかと自信が無かったが、今回の講話で自信がつき、目標に向けてがんばろうという思いがわいた。」「小倉工業での仲間づくりや新入生指導などが将来絶対必要になるということがよくわかりました。」「コロナでいろいろな制約下で頑張っている大変な時期に開催された講演会ですが、在校生にとって素晴らしい会となりました。」「



▲教室にてリモートで式典に参加する様子

技術講話を終えて



Tz Factory (株)
代表取締役
田辺 慎治 氏
(H元年 電子科卒)

5月2日 創立123周年記念式典にて、「画像認識 AI による自律型ロボット製作課外授業」の講師を務めた実績について、中野校長より感謝状を拝領いたしました。誠にありがとうございました。

創立120周年記念事業の一環として「倉工生に最先端の技術を教えたい」との想いから、令和元年6月に本課外授業が始まりました。コロナ禍で一時的に中断せざるを得ない時期があり、カリキュラム構成に悩んだ事もありましたが、無事役目を終えたことに安堵しております。学習内容は多岐に亘るため、限られた時間の中で受講生に理解してもらうことが難しく、至らなさを痛感したこともありましたが、少しでも受講生の成長や、今後の社会生活を営む上で役立つものになれば本望です。

情報技術における状況鑑みずと、AIしかりITに関する概念や技術、製品・サービスの多くで米国の始とするICT先進国が提供するものを利用していることに気付きます。「技術と人間」というテーマで講演をさせていただきましたが、技術発展の歴史を調べていく中で、物理学やコンピュータ科学が主に欧米主導で発展してきた歴史を顧みずと、日本発が少なくないことは仕方がないと思えます。



しかしながら、現在世界の演算速度を持つコンピュータは日本が開発した「富士」です。使われる技術の全てを日本が開発した訳ではありませんが、これまで繰り返されてきたように、海外のものを取り込んで磨き上げるという日本の特性を感じざるを得ません。これから社会に飛び立つ倉工生の皆さんにも、自身の特性を大いに生かして活躍されることを祈念いたします。

記念講演を終えて



三井住友銀行
福岡法人営業部 部長
岑 建一 氏
(H4年 電子科卒)

この度は創立記念式典にお招き頂き有難うございました。

30年振りに校舎へ足を踏み入れましたが、生徒の皆さんの挨拶をはじめとした所作を目にし、「真理探究」「質実剛健」「勤労努力」の校訓の下、規律や礼儀を重んじる校風が大切に受け継がれている事を実感し、懐かしさや嬉しさが込み上げ、とても清々しい気持ちになりました。

今回、お声掛け頂いた際は役不足では無いながらも、母校に恩返し出来る機会を頂いた事を嬉しく思いましたし、丁度、卒業後30年と私にとっても節目でもありましたので、有難くお受けした次第です。

社会人となり、いつの間にかそう思い始めたのか定かではありませんが、私にとって、小倉工業で受けた教育や経験が、自立した大人として前に進んで行く為の原動力です。

当日は、在校生の皆さんに私が受けた教育の影響や母校の素晴らしいを極力シンプルにお伝えすることで、一人でも多くの生徒が「小倉工業で学ぶ自分」「学んだ自分」に自信と誇りを持つきっかけづくりが出来ればという気持ちで臨みました。

言葉足らずで上手く伝えられなかった事もありましたが、これからの小倉工業を築いて行く上で少しでもお役に立てたなら幸いです。



転出のご挨拶



前教頭
吉中 禎敏

新緑の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

令和4年度の人事異動により、4月から田川科学技術高等学校校長として、着任することとなりました吉中禎敏でございます。本校には、平成9年4月から平成20年3月までの11年間教諭として勤務した後、令和2年4月から令和4年3月までの2年間教頭として勤務させていただきました。特に教頭として勤務した期間、北辰会の皆様には、新型コロナウイルスが猛威をふるう状況下、感染防止のため倉工生及び教育活動継続のため、物心様々なご支援賜りましたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、新任地の田川科学技術高校は、平成17年に田川農林高校、田川工業高校、そして田川商業高校の古き良き伝統と歴史を受け継ぎ、開校して18年目を迎える新しい学校です。現在の学科構成は、1つの学年に農業食品科（農業系）2クラス、工業システム科（工業系）2クラス、ビジネス科学科1クラスの3学科5クラス、計15クラスを有する県下唯一の総合型産業高校です。

北辰会の皆様には、籠原裕明会長が開学から関わり、初代校長を務められた高校とお伝えすれば、親近感をお持ちいただけるのではないのでしょうか。また、前校長の奥田邦夫校長が本校6代校長であったことから、私自身は本校での勤務経験がありませんが、強い縁を感じる学校です。

着任当初、工業科教員の私には、農業、工業、商業の3つ専門学科がある本校をどのように舵取りするか悩みもありましたが、福岡県産業教育振興会事務局長として県内の産業教育振興に関わったこと、福岡県教育センター産業・情報教育部産業教育班の指導主事として産業教育に関わったこと、教頭として初めて筑豊地区に所在する鞍手竜徳高校勤務したことなど全てが、本校校長として着任するための礎であり、修行であったと考えることにしました。今後は、微力ながら田川科学技術高校発展のために全力を尽くす所存です。

結びに、私の35年の教員生活で計13年と最も長く勤務し息子も通わせた思い出深く愛着のある小倉工業高校並びに北辰会の更なる発展を祈念し、転任のご挨拶とさせていただきます。

修学旅行

コロナ禍での修学旅行 感染防止対策を十分に講じて実施

令和4年1月10日(月)から14日(金)にかけて、2年生190名が志賀高原への修学旅行を実施いたしました。年末年始の人流増加で新規感染者数が爆発的に増え始める状況下で、他校では中止と判断する学校もありましたが、この学年はコロナの影響を受け1学年での宿泊研修も実施出来ない状況であったこともあり、感染防止対策を十分に行之い実施いたしました。スキー教室の体験も含めこの修学旅行で、最終学年へ向けて大きく成長することが出来ていました。



部活動報告

文化部

生徒保健研究発表会 学校保健会 優秀賞
研究テーマ 栄養バランスのとれた食事を摂ろう

吹奏楽部

第16回定期演奏会は中止になりました

今後の予定 6月 5日(日) 吹奏楽祭 北九州ソレイユホール
7月 30日(土) 吹奏楽コンクール //

9月 18日(日) 文化連盟北九州大会 黒崎ひび信ホール
11月 23日(水) アンサンブルコンテスト //

12月 18日(日) クリスマスコンサート 北九州ソレイユホール
2月 5日(日) 第17回定期演奏会 ウェルとばた大ホール



▲エレクトロニクス技術部の練習風景

運動部

●バスケットボール部

北部予選 小倉工 90 - 54 八幡南
// 67 - 114 折尾愛真
// 68 - 82 自由が丘
// 20 - 0 小倉高 不戦勝 県大会出場決定

●陸上部

北部ブロック 県大会へ出場を決めた種目
男子 200m、800m、5000m、110mH、400mH、5000mW、
4×100mR、4×400mR、走高跳、棒高跳、やり投

●野球部

6月 4日(土) 福岡工業定期戦 於福岡工業

●ラグビー部

小倉工 46 - 10 合同
// 0 - 57 武蔵台・久留米・小郡・明善
城南高校

●バレーボール部

小倉工 2 - 0 明治学園
// 0 - 2 小倉東

▶サッカー部の練習風景

●サッカー部

北部ブロック予選 小倉工 0-2 八幡南、小倉工 1-1 北九州高専
// 0-0 京都高、// 1-2 小倉南
// 4-2 青豊、// 2-0 八幡南
// 2-0 北九州高専、// 1-3 常盤高

●空手道部

男子個人型 優勝 川上大輝 電3
// 準優勝 社川弘政 電3
男子団体組手 優勝 県大会出場



優勝した空手道部▶

教職員の異動

▽後藤 高司(教頭)	菊田工業高校
▽宮崎 康(事務主査)	ひびき高校
▽井上 明輝(事務主査)	北九州視覚特支
▽柳本 孝利(事務主事)	新規採用
▽進 純一(電子)	戸畑工業高校
▽青影 一隆(機械)	八幡工業高校
▽増田 和法(工業化学)	博多青松高校
▽大谷 智之(電子機械)	直方特支
▽池田美知子(英語)	若松商業高校
▽山辺 和範(国語)	北筑高校
▽足立 亮一(保健体育)	西田川高校
▽吉形 政衡(保健体育)	新規採用
▽原崎 真美(機械)	新規採用
▽西 宏幸(電子)	浮羽工業高校
▽三好 央敬(電気)	八幡工業高校
▽小山 玲央(電子機械)	新規採用
▽中村美智子(数学)	門司学園高校

【転入】

▽吉中 慎敏(教頭)	田川科学技術高校校長
▽篠崎 孝司(参事事務長)	久留米高校
▽藤林真由美(事務次長)	小倉高校参事補佐
▽重松 恵理(事務主事)	退職
▽久保 光平(機械)	菊田工業高校
▽守口 恒史(電子)	菊田工業高校
▽西脇 裕子(英語)	小倉西高校
▽大澤 晶子(国語)	北九州高校
▽大津 秀一(電気)	浮羽工業高校
▽寺尾 和彦(機械)	田川科学技術高校
▽木岡 優子(電子)	菊田工業高校
▽崎村 論(保健体育)	東海大福岡高校
▽宮川 佑(機械)	香椎工業高校
▽芳坂 翼(電子機械)	菊田工業高校
▽源 縁(国語)	退職
▽佐藤 宏文(地歴公民)	退職

【転出】

～活躍する卒業生～

有田 稜 選手 Jリーグ いわきFC(背番号11番) 2022シーズン入団

有田 稜(平成30年 電子機械科卒 飛幡中学校出身)

経歴：戸畑FC U-12 ～ FC NEOジュニアユース ～
小倉工業高校サッカー部 ～ 国士館大学 ～ いわきFC

入学当時から、186cmの類い稀な身体能力とその大きさからは計り知れない柔軟さとスピードを兼ね備えた選手として、強豪校からも注目されていた。1年生の頃からレギュラーとして活躍し、二年生の夏、全国高校サッカー選手権第二次予選へ本校22年ぶりの出場の原動力として躍進した。また、その頃からプロ注目のストライカーとして、強豪校からも得点を挙げるなど、小倉工業高校古豪復活の立役者となった。

名門国士館大学でもレギュラーを獲得し、3年生では、わずか13試合で10得点と関東大学サッカーリーグで得点率1位の実績を残した。

現在、J3リーグ第8節終了時点で3得点をしている。



ゴールを決めた有田稜選手▶

丸山 翔大 投手 2020年東京ヤクルトスワローズ 育成ドラフト4位

丸山 翔大(平成29年 電気科卒 吉富中学校出身)

丸山投手は平成26年度に入学した。当初は身長175cmサイドスローの投手であった。豊前市吉富町から毎日90分以上をかけて登校していたが、朝7時にはグラウンドのマウンドでシャドーピッチングを行う姿が見られた。高校3年次の夏の大会ではパート決勝で育徳館高校に敗戦した。その時には191cmまで身長が伸びていた。電気科での成績も上位に位置し、大手企業や優良企業への就職を考えていたが、プロ野球選手になって活躍したいという夢を捨てきれず、西日本工業大学へ進学した。大学進学後は近くにある平尾台を20分で駆け上がるなど下半身の強化に取り組んだ。主に抑え投手として活躍した。大学4年次春には大分県の大企業に就職内定をいただいた。新型コロナウイルスの影響でリーグ戦が中止となり、本来であれば春のリーグ戦で引退となるが、監督に直訴し秋のリーグ戦でも出場させていただいた。そのリーグ戦直前のオープン戦でMAX148km/hを計測し、他大学の選手を視察に来ていたGMとスカウトの目に留まり、プロ志望届を締切直前に提出した。ドラフト会議では東京ヤクルトスワローズから育成4位指名を受けた。入団後は細身のため高卒選手と同じ育成プランで1年間で体重が12kg増加した。球速もMAX152km/hまでになった。2年目の今年は先発に挑戦している。目指すは胴上げ投手。今後の活躍に期待したい。



▲イースタンリーグで活躍する丸山翔大選手

北辰会費納入と 教育振興基金納入のお願い

コロナウイルスが蔓延し始めてすでに2年半になります。その間北辰会総会は、2年続けて中止となり今年度も11月に延期致しましたが、状況次第では再延期又は、中止の可能性も考えられます。各支部に於いても殆ど行事を自粛しておりますが、今年こそは北辰会と各支部が以前のように活動し総会が開催され皆様方とお会い出来る事を願っております。

北辰会では、保護者の方々のご協力を頂き母校に他校では出来ない万全のコロナ対策をとってまいりましたが、まだまだコロナの収束が見えない中で今少し支費が必要であると思っております。

北辰会費の納入と教育振興基金へのご支援を頂きますようお願い申し上げます。

行事予定 (5月16日現在)

6月4日(土)	野球部定期戦 於福岡工業
10月11日(火)	第29回北辰会オープンゴルフ大会 於勝山御所カントリークラブ
10月29日(土)	福岡支部総会
11月6日(日)	平成4年度北辰会総会 於小倉飯店
11月26日(土)	小倉南支部総会

新型コロナウイルス感染防止 対策下の北辰会活動について

北辰会では、感染防止をはかりながら、コロナ感染防止の学校の方針に基づき運営上支障の無い範囲で日常業務は続けています。定期的な行事・会議は、現在まで原則として全ての活動を延期もしくは中止しています。各支部総会なども昨年度まですべて中止されています。現在のコロナ禍の状況をご理解戴き、ご協力の程、宜しくお願い致します。

今後の予定は、新型コロナウイルスに対する国・県・市及び学校の方針に従い、進捗状況を見定めながら順次決めて行きます。現在、秋以降の予定として、本部では北辰会総会・オープンゴルフ大会を計画しています。現在までに予定が決まっている各支部の予定と併せてご案内いたします。

今後、コロナ禍の中の諸行事の案内は北辰会ホームページを通してご連絡させていただきます。